2020~2021 年度
大船渡西ロータリークラブ会報

七福人

ロータリーは
機会の扉を開く

RI 会長テーマ

会　長　高木　久子
副会長　齊藤　俊明
幹　事　山口　　徹

＝会長指針＝

途中困難最後必勝

2021 年 1 月 28 日発行

★　高木会長より

大船渡西ロータリークラブの皆様へ
寒中お見舞い申し上げます。
　例会を開催することが難しいこのご時勢ですので、会友の皆様からの近況報告，或いはご自身の考えているロータリー又は西ロータリークラブでの活動で感動された事等々前向きの発言をお願いいたします。メール・FAX などを通じて配信させて頂きます。
山口幹事よりお願いされた方は、快く受け止めて下さいませ。

私高木久子は、西クラブでの活動で感動した事は、やはり関場ドクター(青森アップルロードクラブ)主導のもとポリオ撲滅の為インドでのポリオワクチン投与に、1917 年・1918 年の 2 度参加できた事です。やはり現地に行ってみて、撲滅はまだまだなんだなぁ~と感じました。
機会があったらもう一度参加したいと思っております。
ワクチンを受けに来る子ども達のつぶらな瞳は、いまだに忘れることができません。

＝　MyROTARY より抜粋　＝

　ロータリーは 35 年以上、ポリオを世界から根絶するための活動を続け、大きな進展を遂げてきました。
世界ポリオ根絶推進活動（GPEI）を立ち上げたパートナーとして、ロータリーはポリオの症例を 99.9%減らす貢献をしてきました。
現在も野生型ポリオウイルスが存在する 2 カ国、アフガニスタンとパキスタンからポリオを完全に根絶し、ほかの国々をポリオフリー（ポリオのない状態）に保つことが重要です。
根絶活動を今ストップした場合、10 年後には年に 20 万人もの子どもがポリオによるまひ障害に侵される可能性があります。
ポリオ根絶まであと少しですが、まだ完遂したわけではありません。予防接種やサーベイランス（監視）活動のために現在も資金が必要とされています。皆さまからのご寄付で、根絶の実現にさらに近づくことができます。（ポリオプラスと指定したロータリー財団への寄付）
疾病を根絶するには多大な努力が必要とされ、ロータリーとパートナー団体だけではこの目標を完遂することはできません。「世界ポリオデー」への参加を通じて、皆さまもポリオ根絶の取り組みにご参加いただけます。